

県立友部病院整備基本計画について（概要版）

1 計画策定の趣旨

友部病院は開設以来 47 年が経過し、老朽化・狭隘化により療養環境の確保や効率的な運営、政策医療への十分な対応が困難な状況にあることから、県民の求める安心・安全な質の高い精神科医療の実現に向けて全面建て替えを実施するにあたり、基本的考え方・方針を整理するため本計画を策定する。

2 計画の概要

(1) 新病院の主な診療機能

精神科救急医療

民間医療機関との機能分担のもと、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 24 条に基づく警察官通報に 24 時間 365 日対応するとともに、その他の精神科救急についても受入れの充実を図る。

児童・思春期医療

多様な病態が存在する児童・思春期疾患に対応するため高度・専門的な医療を提供するとともに、家族や教育機関との連携のもとで「こどもの心の医療」に対する相談・教育にも対応する。

薬物中毒医療

主として急性期の解毒、離脱症状、合併症に対して専門的薬物医療を提供するとともに、再発防止に向けて家族や民間団体等との連携を密にしながら患者の社会復帰を推進する。

身体合併症医療

内科疾患や自傷・外傷等の身体疾患を有する精神患者に対し、中央病院との連携のもとに適切な医療を提供する。

医療観察法による精神科医療

医療観察法に基づき、引き続き鑑定入院及び指定通院医療を提供するとともに、指定入院については集中的・専門的な医療を提供することにより社会復帰の促進を目指す。

総合医療（認知症疾患アセスメント、睡眠障害医療、疼痛医療）

中央病院の各診療科との連携のもとで新たな診療分野を含めた総合医療を提供する。

(2) 新病院整備の基本的考え方

患者の立場に立った視点

患者にやさしく明るい施設、友部キャンパスの自然との一体的整備、安全でプライバシーに配慮した施設、地域との交流・共存を目指す施設、歴史に配慮した環境整備

合理的運営を行う視点

IT 技術を取り入れた施設、院内物流システムの充実した施設、職員が働きやすい施設
環境に配慮した施設、長期的に経済性の高い施設

(3) 建設計画

- ・ 建設場所 現在地（敷地面積：128,683.99 m²）
- ・ 病床規模 285 床（7 病棟）
- ・ 延床面積 16,800 m²程度（本体：15,000 m²，医療観察法病棟：1,800 m²）
- ・ 総事業費 約 68.4 億円（本体：60 億円，医療観察法病棟：8.4 億円）
- ・ スケジュール 平成 23 年 4 月開院予定 ※医療観察法病棟についても同時期を想定

年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
実施事項	基本設計	実施設計	建設		開院